

県内一の産地 端午の節句を祝う花

「花菖蒲」出荷本格化へ！

JA あいち海部早尾花卉組合（組合長：佐藤昭彦）が栽培する「花菖蒲」の出荷が4月下旬にピークを迎えます。花菖蒲は5月5日のこどもの日（端午の節句）に用いられ、同組合では「紫雲（むらくも）」を中心に7品種を栽培しています。木曽川の伏流水に恵まれた立地条件を活かし、県下1位の生産量・産出額を誇ります。

JA あいち海部「早尾花卉組合」栽培概況

栽培地域：愛西市早尾町

栽培面積：168.5アール

栽培戸数：13戸

流通先：全国（東北から岡山）

収穫時期：3月上旬から6月中旬

最盛期：4月下旬から5月上旬



花菖蒲の目揃え会の様子



花菖蒲は、アヤメ科アヤメ属の植物で、原種はノハナショウブと呼ばれる野生種を改良した園芸品種です。花菖蒲の由来は端午の節句にお風呂に入れる葉菖蒲に葉の形が似て、美しい花が咲くことからきていますが、葉菖蒲は「サトイモ科」、花菖蒲は「アヤメ科」でどちらもまったく異なる植物です。

＜早尾花卉組合花菖蒲の特徴＞

端午の節句で用いられる花菖蒲はビニールハウスを用いた促成栽培により、自然栽培よりも早く開花時期を迎えます。

切り花として蕾の状態で収穫、出荷されています。

取扱品種が多く、7品種出荷を行っています。

「紫雲（むらくも）」・「燭光錦（しょっこうにしき）」・「黄金（こがね）」・「初霜（はつしも）」・「日の出鶴（ひのでづる）」・「群青（ぐんじょう）」・「立田紫（たつたむら）」※オリジナル品種

【メディア対応】

日程：ご連絡をいただけましたら、日程調節いたします。

場所：JAあいち海部 れんこんセンター 愛西市早尾町晩稻場 36-1

＜お問合せ＞

JAあいち海部企画部企画課（広報担当：藤原）TEL：0567-28-6760 FAX：0567-28-6655

E-mail：sougoukikaku@ja-aichiama.com HP：http://www.ja-aichiama.com/